

# はちのへ 市議会だより

平成19年3月定例会

No.56

2007年(平成19年)4月20日発行

編集・発行 八戸市議会 八戸市内丸一丁目1番1号 ☎43-2111 内線407

はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp>



八戸市鷗盟大学 卒業式

平成19年3月定例会は、2月27日から3月23日まで、25日間の会期で開かれ、平成19年度一般・特別・企業の各会計当初予算など市長提出議案69件、議員提出議案3件を可決して閉会しました。

## 平成18年度3月補正予算

一般会計補正予算額 1,214万6千円 補正後の予算総額 808億132万6千円

主なもの	○是川縄文の里整備基金積立金	8,277千円
	○協働のまちづくり推進基金積立金	2,331千円
	○地域活性化基金積立金	15,586千円
	○市民病院事業会計負担金等	500,000千円
	○地域介護・福祉空間整備補助金	15,000千円
	○障害者自立支援特別対策事業費	25,892千円
	○(仮称)地域観光交流施設整備事業費	46,000千円
	○道路、漁港等災害復旧事業費	78,840千円
	○救命救急センター負担金	△174,654千円
	○都市計画事業負担金	△182,550千円

# 市政に対する 一般質問

財政、観光行政、福祉行政、教育行政など、175項目の質問の中から質問議員1人につき1項目を取り上げ、要旨を掲載しました。

なお、今定例会では、会派を代表して質問する代表質問がありました。

## 質問した議員（質問順）

- ・大館 恒夫
- ・寺地 則行
- ・山名 文世
- ・前澤 時廣
- ・畑中 哲雄
- ・石橋 充志
- ・坂本 眞将
- ・伊藤 圓子
- ・上条 幸哉
- ・松田 勝
- ・石屋 俊夫
- ・菊地 敏明

## 館鼻公園への

### 交通アクセス改善を 政風クラブ代表

【問い】 展望台などを整備中の館鼻公園への交通アクセス改善のため、県道（主要地方道八戸階上線）と市道（館鼻道線）の交差点の隅切り設置や、新井田川河口側からの連絡通路などを整備する考えは。

【答え】 現在、県道と市道の交差点は、十分な隅切りが確保されておらず、バスが県道（本町方面）から市道（館鼻公園方面）に左折する際に、反対車線にはみ出してから進入しており、容易に走行できない状況となっている。

また、当公園の整備完了後には、大型バスなどの交通量の増加が予想されることから、関係権利者の協力が得られることを前提に、隅切り設置など、交差点の改良を検討していく。

## 高齢者や障害者の福祉施策 見直しに対する所見は

### 社民党・市民連合代表

【問い】 高齢者等バス特別乗車証支給事業および在宅重度心身障害者タクシー等料金助成事業の見直しに対する所見は。

【答え】 市では、高齢者等バス特別乗車証支給事業を見直し、本年七月から、これまで市営バスの利用に限られた特別乗車証を南部バスでも利用可能とし、乗り換えの不便解消や待ち時間の短縮、南郷区への事業の拡大を図る。

これに伴い、特別乗車証の年間利用料は有料または増額となるが、これまで交付対象外であった一定所得を超える高齢者や障害者は、新たに利用が可能となる。

また、在宅重度心身障害者タクシー等料金助成事業を見直し、ほかの障害者福祉サービス事業との均衡性・整合性を図るため、本年四月から、一定以上の所得者に所得制限を導入する。

厳しい財政状況の中、各種福祉サービスを維持・充実していくためにも、利用者の理解を得

ながら、公平・公正な福祉行政の推進に努めていく。

## 特別支援教育支援員の拡充は

### 公明党代表

【問い】 特別支援教育支援員の現在の配置状況と、拡充の考えは。

【答え】 特別支援教育支援員の制度は、小・中学校において、多動傾向や介助の必要があるなどの、特別な支援を要する児童生徒に対し、学級担任以外に支援する者を配置する制度である。

県では、同様の目的で、昨年度からスクールサポーター配置事業を実施し、当市には、昨年度十三人、本年度七人が配置されたが、本年度で廃止されることとなっている。

市では、特別な支援を要する児童生徒に十分な支援をすることとは、学習意欲の向上や自己肯定感が高まるばかりでなく、周囲の児童生徒についても、いじめや不登校などの問題を未然に防ぎ、明るく楽しい学校生活の確立につながると確信している。

さらに、学校や保護者などからの要望も多いことから、独自

## 副市長の定数を

### 二人とする理由は

#### 市民政友会代表

【問い】 副市長の定数を二人とする理由と目的は。

【答え】 昨年六月に地方自治法が一部改正され、各自治体では、助役・収入役制を廃止し、本年四月から副市長制を導入することとなった。

行政の住民に対する役割と責任が拡大し、より一層の自律的な行政運営が求められている中、南

郷区におけるまちづくり計画の推進や、中核市を見据えた各種施策の展開など、今後の市政に対する課題が山積しており、これらの解決に向けて、今回の制度改正を機に、強力なトップマネジメント体制を構築するため、副市長二人体制が必要と判断した。

他都市の導入状況については、当市を含む特例市三十九市で、副市長を二人以上置く予定の都市が三十四市となっている。

このうち、当市と同様に助役一人制から副市長二人制への移行を予定している都市は十市である。

に特別支援教育アシスト事業を立ち上げ、来年度は、本年度と同人数の七人を配置する予定であるが、現状に対応できる十分な人数でないことは認識しており、今後、拡充に向けて検討していく。

## 国の税制改定に伴う 市民負担を軽減する考えは

### 日本共産党議員団代表

【問い】 国の税制改定により生じる保育料、個人住民税、国民健康保険税、介護保険料への影響に対する市独自の軽減策は。

【答え】 保育料は、国の徴収基準額表の改正案に基づいた規則の改正作業を進めており、影響が生じないよう対応していく。個人住民税は、地方税法に基づき課税しているため、軽減策は考えていない。

国民健康保険税は、低所得者対策として、均等割・平等割について、所得に応じて軽減する法定措置が設けられるなど、国の基準によるさまざまな対策があるため、軽減策は考えていない。介護保険は、低所得者に対し、保険給付の対象外である介護保

険施設利用時の居住費や食費において、負担上限額を超える一定部分について保険給付が行われており、さらに第三期（平成十八年度から二十年度）の介護保険料は、負担能力を適切に反映した設定をするなど、低所得者に配慮した対策を講じているため、軽減策は考えていない。

## 児童生徒の問題行動に対応するマニュアルづくりを 政風クラブ

【問い】 児童生徒のいじめなどの問題行動に対応するため、教職員の体制づくりや地域との連携を図るマニュアルを作成する考えは。

【答え】 子どもの健やかな成長のためには、地域の子どもは地域で大きくむという考えに立ち、学校と家庭・地域社会との緊密な連携を積極的に図る必要がある。市では、学校の危機管理、具体的な事例への対応を掲載した八戸市小学校・中学校危機管理ハンドブックを作成し、平成十四年度に全教職員へ指導の手引きとして配布した。各学校では、当ハンドブック

をもとに学校の実状に即したマニュアルを作成し活用している。今後も、当ハンドブック活用についての周知徹底を図るとともに、虐待、インターネットなどにかかわる新たな問題や、地域との連携のあり方などにも対応できるように見直しを進めていく。

## 南郷区の葉たばこ栽培への 支援策は

### 市民政友会

【問い】 南郷区の主産業である葉たばこ栽培への支援策は。

【答え】 南郷区の主産業は農業であり、特に葉たばこは、比較的ヤマセの影響を受けにくく、価格が安定していることなどから、南郷区の農業の重要な基幹作物となっている。

南郷区では、昭和十五年から葉たばこ栽培が始まり、現在では粗生産額で十億円を超えるなど、全国有数の産地である。

市では、葉たばこの産地保全と良質葉生産を図るため、旧南郷村が平成二年度から実施してきた葉たばこ振興対策事業を合併後も継続しており、本年度は、区内の二つの葉たばこ生産団体



葉たばこ畑

県立屋内スケート場の建設に関する要望事項の区分を、重点事業から最重要事業に格上げする考えは。

【答え】 市では、毎年度、重要性和緊急性の観点から、要望事項を最重要事業と重点事業に区分し、国や県への要望活動を行っている。

両施設の建設は、平成十五年度まで最重要事業として要望してきたが、県が同年度策定した財政改革プランで、新規の県立施設着工が平成二十年度まで凍結されたことを受け、平成十六年度から重点事業に変更し要望している。

に対して、耕作農家の機械化、集団利用機械の導入および立枯れ病対策に要する経費の一部の補助を行った。消費の低迷や生産調整など、葉たばこ栽培をめぐる状況が年々厳しさを増す中、南郷区の農業振興を図るため、今後も、葉たばこ栽培に対し支援していきたい。

## 県立八戸芸術パークと県立 屋内スケート場の建設要望 を最重要事業に

### 諸派

【問い】 県立八戸芸術パークと

このことから、両施設の建設については、県の財政改革プランの凍結解除後を視野に、より重点的な働きかけをしていく時期と考えており、現在、来年度に取りまとめる予定の平成二十年度重点要望で、最重要事業に格上げする方向で検討している。

## いじめ対策の

### システムづくりを

市民政友会

【問い】 いじめ対策のためのシステムづくりに取り組み考えは。

【答え】 市では、いじめ問題への対応として、各学校に対し、教育相談体制の充実や、教職員の指導力向上などを依頼するとともに、いじめ問題研修講座や児童生徒参加による対話集会などに取り組んでいる。

学校では、危機意識が高まっております。新たにいじめ対策委員



元気に学ぶ子どもたち

会を設置して、問題状況を分析し、いじめの対応を検討するとともに、悩みを抱える子どもたちが相談しやすい体制づくりを強化している。

今後、これまでの取り組みに加え、それぞれの学校への研修の支援など、子どもたちの現状を的確に把握し、いじめを早期に発見できるような学校支援体制をさらに推進していく。

また、現在実施している教師のための巡回教育相談とスクールカウンセラー配置事業を機能的に結びつけるなど、いじめ対策のシステムづくりに向けた研究を進めていきたい。

## 餓死や孤独死を

### 起こさない行政を

日本共産党議員団

【問い】 全国各地で起こっている餓死や孤独死のような悲惨な事件の防止策は。

【答え】 現在、市では、餓死や孤独死を防止するため、民生委員および在宅介護支援センターに委託し、各地域のひとり暮らしの高齢者や障害者などに関する情報の提供を依頼している。

これらの情報をもとに、高齢福祉課・障害福祉課・健康増進課・生活福祉課が連携して調査を実施し、個々の状況を把握して適切な対応を取ることにより、餓死や孤独死が起きないように万全を期している。

今後、民生委員および在宅介護支援福祉センターとの連携を深め、このような悲劇が起きないように、より一層の努力をしていく。

## 「ぶぶろく」の提供による地域活性化を

市民政友会

【問い】 農家民宿などでの「ぶぶろく」提供による地域活性化に対する所見は。

【答え】 農家民宿や飲食店などを営む農業者が酒類を製造するには、酒税法に基づく製造免許が必要であるが、構造改革特別区域計画の認定を受けた場合には、製造免許を受けるための要件のうち、年間六キロリットルという最低製造数量基準の規程を適用しないこととなっている。

農家民宿などでの「ぶぶろく」

提供は、郷土の文化を意識した手作りのもてなしという魅力が加わり、宿泊客の増加や地場産品の販売増加など、地域の活性化につながるものと考えている。

県では、農家民宿の受け入れ客を、修学旅行生などの農林漁業体験者に限定していたが、昨年十一月から一般の体験者にも拡大しており、地域の特色が求められるグリーンツーリズムにとつて、「ぶぶろく」という、大人が楽しめる要素が加われば、農家民宿への取り組み拡大も期待できるものと考えている。

## 八戸ニュータウンに

### 集会施設の設置を

政風クラブ

【問い】 八戸ニュータウンにコミュニティの拠点となる集会施設を設置する考えは。

【答え】 市では、これまで、地域の集会施設として、一中学校学区に一館を目安に、二十三地区公民館と四分館を設置してきた。

当地域は、現在、根城学区に位置付けられているが、本年四月の白山台中学校開校を契機に、



八戸ニュータウン

白山台学区としてスタートすることとなっている。

また、当地域は、人口増加率が本年一月末現在で前年比約八%増の高い伸びとなっており、さらに、町内会などの地域団体や社会教育関係団体の活動も盛んになってきていることから、集会施設設置の必要性は十分認識している。

このような実状を勘案し、地域住民の意見を踏まえながら、来年度から、設置に向けて、施設内容や事業手法、スケジュールを具体的に検討していきたい。

# 予算特別委員会

平成十九年度の一般・特別・企業会計の予算は、予算特別委員会で審査し、可決されました。

なお、各会派から予算に対し、総括意見があり、その要旨を掲載しました。

## 市民政友会

賛成

市では、前進元年と位置づけ、さまざまな新たな政策を実現するための土台・体制づくりに取り組んできた中、新たな施策展開に踏みだすため、一般・特別会計予算を合わせ、前年度比五・三%増の千五百六十四億八千五十九万七千円とした積極的な姿勢を評価する。

南郷区については、農業振興補助金見直しに対する特段の配慮を願うとともに、南郷サマージャズフェスティバルの予算執行の透明性を高めるなど、積極的な改革に取り組み、全市的なイベントとなるよう期待する。

自動体外式除細動器については、市内全域への設置や、時間外使用が可能なシステムの検討を要望する。

観光振興については、観光資源のさらなる利活用に取り組み、滞在型観光の定着に向け、なお一層の努力と、八戸三社大祭とえんぶりにかかわる文化財保護についての支援を要望する。

小・中学校屋内運動場については、各種現場調査を実施して、着工順位を明確にし、着実に踏襲するよう要望する。

道路行政については、西母袋子線の早期完成を強く望むとともに、右折しにくい交差点を、信号の改良などにより、スムーズに通行できるように対応を要望する。

自動車運送事業については、

抜本的な経営改善を断行し、利便性の向上を図るなど、その努力を評価する。

今後も、市民や観光客のニーズを見極め、各種サービスの向上と、なお一層の経営改善に努めるよう要望する。

市民病院事業については、地域の中核的基幹病院として、住民の生命を守り、健康の保持増進に努めていることに敬意を表す。

今後も、効率的な運営・管理を行い、累積欠損金などの削減を図るなど、経営健全化に努めるとともに、医師処遇の改善に積極的に取り組むよう要望する。

## 政風クラブ

八戸市副市長定数条例に反対、他の議案に賛成

一般会計予算については、第四次八戸市行財政改革大綱と八戸市集中改革プランに基づき、地域活力の創出、まちの魅力創造、地域の安心確立、自治基盤の整備を柱とした戦略プロジェクトを中心に、市勢進展上、重

要な施策に重点的に取り組むものとなっており、その執行に当たっては、市民の立場に立ち、徹底した行財政改革はもとより、重点的かつ効率的な施策の展開を望む。

また、定率減税廃止に伴う所得税・住民税の大幅な負担増などによる重税感に加え、地域格差や所得格差による社会不安が生じていることから、市民感情に配慮した施策の展開を要望する。

副市長二人制については、予算編成基本方針に掲げる財政の健全性確保と行財政改革の推進に対し疑問を持たせるものであり、また、副市長を一人とすることが民意であるとの立場から、反対する。

自動車運送事業については、経営環境が極めて厳しい状況の中、人員の配置転換と一般会計からの補助金削減計画を継続するなど、経営改善の努力を続けている姿勢に対し、敬意を表す。

今後も、子どもや高齢者などの交通弱者の足を守り、公営バスの使命を再確認しつつ、力強く前進することを望む。

市民病院事業については、地域

の中核的基幹病院として、ほかの医療機関と連携しながら、一般医療や高度特殊医療、救命救急センターなどにおいて、地域医療の確保と医療水準の向上に努めていることに敬意を表す。

今後も、医療機器の充実や経営改善を進めるとともに、医師確保に向け、その待遇改善を図り、医師が集まり定着する病院となるよう、医師をはじめ、職員を期待する。

また、患者への心配りとサービスの徹底を図りながら、相互信頼を高め、中核的基幹病院としての機能を、より一層発揮することを望む。

## 社民党・市民連合

一般会計予算に反対、他の議案に賛成

一般会計予算については、投資的経費の構成比が五年ぶりに十%台となる前年度比四・二%増の施策展開に積極的な予算となっている。

歳入では、一般財源は総額で微増であるが、市債は二十五・

3%増となっており、依然として財政状況は厳しく、歳出では、義務的経費を一・四%増に抑制したが、構成比では四十九・六%で、依然として高い水準である。

このような中、文化の継続と創造、水産業・商業などの振興、子育て支援の充実、資源リサイクルの推進などに関連する諸事業で工夫が見られることは評価する。

市立保育所の民営化については、開設予定である認定こども園の成果を検証し、子育て支援に市独自の方向性を見いだすまで、全面民営化に踏み切るべきではないと考え、反対する。

防災安全推進室でのプロパールの育成、高齢者や障害者の負担軽減と検証、医師確保対策のさらなる強化、南郷サマージャズフェスティバル事業運営のさらなる健全化、観光戦略アドバイザー事業の積極的な展開、馬淵川・土橋川における効率的な治水対策、市内アイスホッケーリンクの点検と整備計画の策定、八戸駅西土地区画整理事業の促進と定期的な住民説明会の開催、蕪島の遊泳解禁へ向けての下水道整備促進などを要望し、重点

的かつ効率的な施策の展開を図ることを強く期待する。

自動車運送事業については、高齢化に伴い、バス事業の果たす役割がますます重要となってくる中、一定の公共財産の投入は、公平なサービスとして理解するが、自治体主導の公共交通に対する認識の変化もあることから、英知と決断のある対応を強く期待する。

市民病院事業については、医師確保が大変難しい中、病院一丸となって医療体制を構築していることに敬意を表するとともに、地方公営企業法の全部適用については、将来像を見据えた議論の場を構築し、市民へ心地よい医療を提供することを強く期待する。

## 公明党

### 賛成

一般会計予算については、八戸市集中改革プランにより、歳出面の見直しを図り、投資的経費が一割を超え、積極的な予算編成となったことを高く評価する。



田向地区

(仮称)地域観光交流施設の整備については、中心市街地の活性化のため、その役割が期待される地域住民へのリーダーシップを求める。

田向地区については、良好な住環境の保持を第一義とし、八戸市田向土地区画整理組合への配慮を求める。

沼館地区については、商業地域として、他都市へ誇れる魅力あるゾーンの形成を期待する。

学校施設の耐震化については、子どもや災害時における地域住民の安全・安心のため、速やかな対応を強く要望する。

(仮称)第二青潮小学校の建設については、行政の継続的な

ことから、責任をもった対応を強く望む。

特別支援教育支援員については、発達障害などの子どものため、その充実・強化を図るよう望む。

学校図書については、児童生徒のため、国の支援制度を活用しながら、充実を図るよう望む。

障害者福祉については、障害者自立支援法に対応するため、今後も、市独自の支援策の充実や新制度の啓蒙を図るよう要望する。

防災については、ポンプ場の設置や河川のしゅんせつなど、災害の未然防止策を強く要望する。副市長二人制については、賛成する。

自動車運送事業については、業務の効率化など、経営改善への取り組みに敬意を表する。

今後も、高齢者などの交通弱者の日常の交流手段として、重要性が高まる一方で、一般会計からの拠出も限界があることから、あらゆる知恵を発揮し健闘することを期待する。

市民病院事業については、自治体病院で医師不足が言われている中、確保に努めていること

に敬意を表する。

今後も、ほかの医療機関などとの連携の中心を担い、また、地域住民の安心と信頼のよりどころとしての使命の大きさは計り知れないことから、地域住民の安心の灯台となることを望む。

## 日本共産党議員団

一般会計予算、国民健康保険特別会計、八戸市副市長定数条例に反対、他の議案に賛成

一般会計予算については、政府の税制改定が大きな影響を与えており、市税の増収はあるものの、定率減税の廃止に伴う所得税・住民税の増税は、市民には重い負担となっている。

県が廃止し市が単独で継続する、子育てサロン支援事業、第三子保育料軽減事業（三歳以上児）および特別支援教育アシスト事業などは評価できるが、一方で、特産そば奨励金の削減、市立保育所の民営化、教育再生に逆行となる全国一斉学力テストの実施や、国民保護協議会関



浜須賀保育所

自動車運送事業については、関係者の努力にもかかわらず経営困難が続いているが、バスロケーションシステム事業による環境負荷の低減などを広報し、市民との協力体制をつくることも有効であり、交通弱者の足を守る事業として、今後も努力することを期待する。

市民病院事業については、産科医不足からくる過重労働には、緊急の対策が必要であり、助産師の活用も計画されているが、根本的には国の財政的支援と方針の再検討が求められる課題である。

また、医師養成の課題でも市民病院の役割は大きくなっており、地域の中核的基幹病院として信頼し安心できる病院を目指すよう要望する。

諸派

賛成

一般会計予算については、徹底的な事務事業、補助金の見直しを図り、経費削減に努めるとともに、第五次八戸市総合計画

に掲げた戦略プロジェクトに重点配分がなされ、防災体制の整備など、多彩な新規事業、市単独事業が盛り込まれ、決意と意欲を示している。

高齢者や障害者のバス特別乗車証については、負担の圧縮など市独自の支援をするよう要望する。

是川縄文の里については、整備と並行し世界遺産登録リスト入りを目指し、市民挙げてのうねりをつくる支援を求める。

(仮称)地域観光交流施設の整備については、中心市街地活性化の起爆となるよう期待するとともに、商店などと一丸となって取り組む体制づくりを図ったうえで、基本計画の策定を望む。

県立八戸芸術パークと県立屋内スケート場の建設については、全市挙げて推進の気運を盛り上げる施策を講じるよう要望する。

南郷区については、地域振興、とりわけ農業振興を推進することを強く要望する。

自動車運送事業については、厳しい経営状況にある中、労使ともに身を削って経営健全化に努めてきたことに敬意を表する。

また、環境的に持続可能な交

通への転換をテーマに取り組んだことは、公営バスの新しい時代のスタートに立ったと高く評価する。

今後も、バスロケーションシステム事業などによる利用者増を期待するとともに、市民と環境に優しいバスを目指すよう要望する。

市民病院事業については、高度で信頼ある医療を提供するためには、医師や看護師が定着できる勤務体制と待遇改善が急務であり、地方公営企業法の全部適用に移行すると、より高い経営手腕が求められるため、医師確保と、経営状況の好転に期待するとともに、患者本位の良質な医療提供により満足度を一層高めるよう強く要望する。

本会議は、どなたでも傍聴することができます。

なお、車いすの方は、市庁本館三階で、テレビ視聴できます。

三月定例会では、百九人の傍聴者がありました。

三月定例会の会議録は、五月末に発行する予定です。

平成十八年の議会活動

★議案の審議件数

市長提出議案 189件  
議員提出議案 6件

★会議の開催状況(延べ日数)

会期日数 73日  
本会議日数 20日  
議会運営委員会日数 27日  
常任委員会日数(協議会含む) 23日

総務

経済 23日  
民生 22日  
建設 27日  
建設 26日

特別委員会日数(協議会含む)

環境先進都市推進 4日  
観光開発 4日  
港湾振興対策 5日  
スポーツ・文化施設検討 10日  
予算・決算 10日

★請願・陳情の審査件数

請願 5件  
陳情 7件

処理状況

採択 陳情 2件  
不採択 請願 5件  
陳情 4件

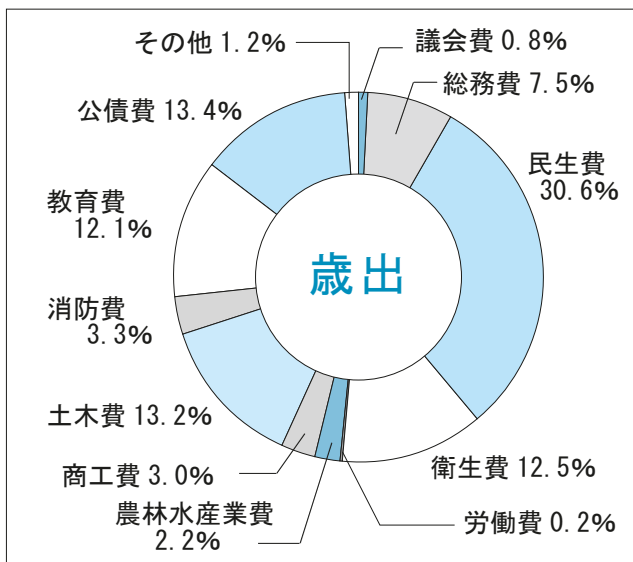
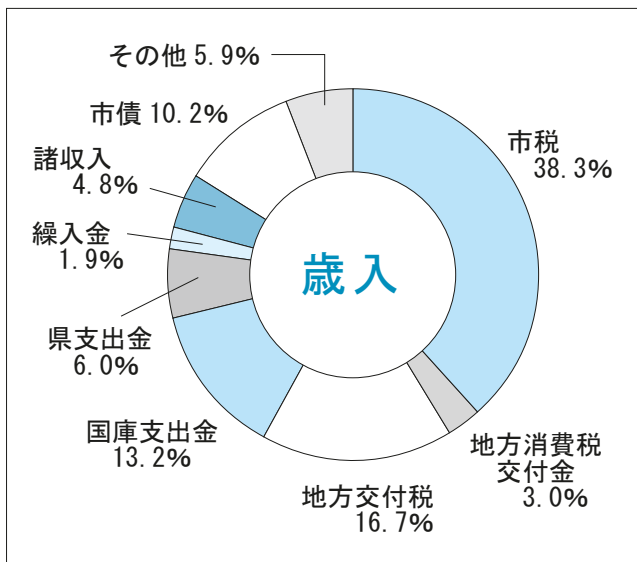
継続審査

取り下げ 陳情 1件  
陳情 0件

# 平成19年度当初予算の概要

## 一般会計

812億6,000万円



## 特別会計

(14会計総額) 752億2,059万7千円

## 企業会計

	収益的収入	収益的支出
自動車運送事業会計	16億3,349万5千円	20億6,782万円
市民病院事業会計	121億2,569万1千円	133億3,506万9千円

## 新たな条例

▽八戸市副市長定数条例  
地方自治法第161条第2項の規定に基づき、八戸市副市長の定数を定めることを目的としています。

▽八戸市健康と福祉のまちづくり条例  
健康と福祉のまちづくりを推進するため、その基本理念を明らかにし、市民、事業者および市の役割ならびに基本理念を実現するための基本的事項を定めることによつて、市民だれもが生涯を通じて安心して健やかに暮らすことのできる社会を築くことを目的としています。

▽八戸市景観条例

本市における景観づくりに関する市、市民および事業者の責務を明らかにするとともに、景観法の規定に基づく行為の制限その他必要な事項を定め、ならびに景観づくりに関する施策を講ずることにより、魅力ある景観づくりを推進し、もつて市民にゆとりと潤いをもたらし、愛着と誇りの持てる都市の創造ならびに次世代への継承に寄与することを目的としています。

## 議員提出議案

議員提出議案として、次の3件を可決しました。

○飲酒運転根絶に関する決議

○八戸市議会会議規則の一部を改正する規則

○八戸市議会委員会条例の一部を改正する条例

## 人事

○八戸市固定資産評価審査委員会の委員に次の方を選任することに同意しました。

源新明氏

○人権擁護委員の候補者に次の方を推薦することに同意しました。

石田秀雄氏  
田端常雄氏

○本市の副市長に次の方を任命することに同意しました。

西幹雄氏